

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	201	1年	前期	看護学科	必修	看護学概論 Introduction to Nursing	30	1
担当教員								
野本 百合子								
関連するDPキーワード（看護学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
学問的知識に基づいた看護を実践できる看護職者となるための基盤を形成するために、看護の基盤となる主要概念や理論、対象者の特徴、看護専門職の歴史的経緯等についての講義を受けたり、レポートの作成やグループワークを実施したりすることを通して、看護専門職になるための基本的な態度を身につける。具体的には、看護の目的や対象となる人間の特徴の理解、看護理論や活動の基盤となる法律、看護職の社会的な役割や歴史等を学習する。								
到達目標（授業目標）								
①専門職者が実施する看護とはどのようなものか、説明できる。								
②看護の対象となる人間の身体的、精神的、社会的特徴を前提とする健康や社会の概念を説明できる。								
③人間の発達過程を前提に、各世代の人々の特徴に応じた看護とはどのようなものか、説明できる。								
④看護専門職としての活動の基盤となる理論や関連法規について説明できる。								
⑤看護職が職業としての制度が成立し、社会的に認められるようになった歴史的経緯を説明できる。								
⑥将来に向けて、看護職が社会から期待される役割を展望し、自らの将来を描くことができる。								
⑦他学生とのディスカッションやグループワークを通して、専門職としてのアサーティブな態度・技術を習得できる。								
回 授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	看護学概念とその学習① 「実践の科学」である看護学の特徴、大学における看護学教育、本学カリキュラムの特徴（野本）							
2回	看護学概念とその学習② 看護に関わる主要4概念「人間」「健康」「環境」「看護」、看護実践とその学的基盤（野本）							
3回	看護の対象とその特徴 看護の対象である人間のライフサイクルと発達理論 -エリクソンの発達理論（野本）【討議①】							
4回	発達段階からみた健康上の課題と生活の関連① 乳幼児期・学童期・思春期の発達課題と健康に関わる課題（野本）							

5回	発達段階からみた健康上の課題と生活の関連② 青年期・成人期・老年期の発達課題と健康に関わる課題（野本）【討議②】
6回	看護の概念と実践① 専門職が実施する「看護」とは何か、専門職の要件、看護理論の実践への活用（野本）
7回	看護の概念と実践② 看護職の役割と学問としての看護、わが国における看護実践の法的基盤（野本）【討議③】
8回	看護職への理解①〔グループ発表〕職業調べ－看護職の免許、活動の場、仕事の特徴を理解し、将来を展望する（野本）
9回	看護職への理解②〔認定看護師による講義・まとめ〕－医療現場で活動する認定看護師の実際を知る（野本・教育協力者）
10回	看護実践と職業倫理 職業倫理とは何か、倫理原則、医療現場における倫理的課題の特徴（野本）【討議④】
11回	看護職の歴史の変遷①「職業」としての看護職の成立過程、医療と理論的な看護の発展－欧米での歴史（野本）
12回	看護職の歴史の変遷② わが国における看護職の成立過程と医療の発展（野本）
13回	看護職の歴史の変遷③ わが国における看護職の養成教育制度の変遷と今後への課題（野本）
14回	将来を担う看護職の役割と機能① 看護職やこれからの日本の社会情勢を踏まえた新たな看護職のあり方（野本）
15回	将来を担う看護職の役割と機能② 社会から求められる役割、将来に向けて果たすべき機能の展望（野本）【討議⑤】
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	

成績評価方法及び基準

配布する小冊子に掲載した複数の課題について、個別、あるいはグループで作成したレポート（40%）、授業時に実施する討議の事前・事後学習を記載したレポート（10%）を評価する。また、授業終了後には、筆記試験（50%）にて知識の習得状況の評価する。トータル60点以上を合格とする。

教科書	茂野香おる・長谷川万希子・林千冬「系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学〔1〕看護学概論」（医学書院）
参考図書等	フローレンス・ナイチンゲール、湯槇ます「看護覚え書－看護であること・看護でないこと」（現代社） バージニア・ヘンダーソン、湯槇ます「看護の基本となるもの 新装版」（日本看護協会出版会） アイモジン・キング、杉森みどり「キング看護理論」（医学書院） 舟島なをみ「看護のための人間発達学 第5版」（医学書院）

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

指定した回の授業始めに、討議を行う。討議実施回の授業前週に課題を配布するので、討議をするための事前学習をした上で授業に参加する。小冊子に提示する課題の中には、グループでレポートを作成する課題もあるため、授業時間外にグループワークを実施する必要がある。

関連科目

前科目	128	生命科学	140	医療概論（共通）	203	基本援助技術論	204	生活援助技術論Ⅰ		
後科目	129	生命倫理	205	生活援助技術論Ⅱ	208	基礎看護学実習Ⅰ	207	看護過程		

実務家教員

看護師（医療機関）	野本 百合子								

備考

討議のための事前学習は必須です。必ず事前学習のうえ、授業に参加してください。